

日曜金 日廿七月一十二年明治

時事新報

米國大統領の候補定まる 在ボストン某生
今年は米國大統領改選の期にて米國の政治家が正
多忙の秋なり支那、土耳其等の國々に在ては政府の改
革頗る云ふ事を以て甚だしき禁物として忌み嫌へし
も合衆國よりは毎四年に大統領を改め從て政府全體
を顛覆して之を改革すれども更に害なきのみあらず却
奇怪千萬の事どもなり蓋し或國に於ては政府の權力廣
大に過ぎて恰も社會の事物を包羅し事々物を政府を中心
にして運動するが故に天下の人心に政府と國との區
別なく政府の即ち國よりは國は即ち政府なれば政府の
顛覆を觀て國の破滅を認め殊の外これを大事よ思ふも
のなきにあらず然るゝ米國に於ては政府の交代顛覆を
觀ること我國に於ける神事祭禮の一興の如くにして大
統領當選の勝敗は關取の勝負に異ならず本來その政府
の力左ほどよ強大あらざるゝ、但し又政府の權力は
相應に強大なれども社會全體の事業盛大なるが爲め政
府の權力は恰も之に敵はれたるものか、然らざれば米
国人は其政府を度外視して之より依存するの心なきもは
あらん兎に角に等しく天の生する同類の人間にして其
可さのみ

最早事の概略は電報に頼りて日本に達したるならん米
國のデモクラット黨は其大統領候補選舉の大會をセント
ルイに開き全會の同意を以て其候補者と現任大統領
クレーランドと決定せり又レバブリック黨は同じく其
大會をシカゴ府に開きしに此黨中には候補者の數意外
に多く至て遂に十七人の多きに達せり而して其候補者
を撰ぶに前後八度の投票に依り漸くハリソンなる人を
以て候補者となすに決しより今其候補者の人名と投票
の模様とを左に示し以て讀者の一覽に供す

人名	一回	二回	三回	四回	五回	六回	七回	八回
Ager	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○	○○○○○
Harrison	廿五							
Hawley	八十							
Ingraham	一百							
Allison	廿九							
Dewey	廿六							
Fitter	廿三							
Gresham	卅一							
Husk	廿九							
Sherman	廿九							
Stone	廿九							
Burnham	廿九							
McKinley	廿九							
Lincoln	廿九							
Torakker	廿九							
Grant	廿九							
Hayward	廿九							